

「1人1台端末の『知る』『慣れる』『活用する』を支える授業参考事例

目的：担当する児童生徒の「夢」や「願い」を叶える1人1台端末の活用を考え、実践につなげる

実施時期：学期中、長期休業中（6～12月）

内容：1人1台端末の「知る」「慣れる」「活用する」を支える授業参考事例を活用した研修



日常生活の指導

作業学習（工芸班）

作業学習（陶芸班）

生活単元学習

URL：https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/page_20230316234002

研修日程（目安 30 分）

時期	内容
研修前	・ 授業参考事例の中から研修で使用する事例を選択 ・ 資料の配付（紙面またはデジタル）
研修当日	・ 研修の目的、内容、流れの説明（3分） ・ 授業参考事例の読み込み（5分） ・ ワーク1（5分：個人2分、ペアまたはグループワーク3分） 「この事例の児童生徒の、将来の「夢」や「願い」は何でしょうか」 ・ ワーク2（5分：個人2分、ペアまたはグループワーク3分） 「児童生徒の「夢」や「願い」を実現するために、端末のどのような強みを生かしているのでしょうか」 ・ ワーク3（5分：個人2分、ペアまたはグループワーク3分） 「この事例を参考に、目の前の児童生徒の「夢」や「願い」を実現するために、どのような実践をしたいと思いますか」 ・ 意見の共有（5分） ※いくつかのグループにワーク3の実践を発表してもらう ・ まとめ（2分） ※研修の様子を振り返り価値付けてまとめる
研修後	・ 研修内容の共有（特にワーク3で検討した実践について共有する） ・ 研修を踏まえて行った実践の共有 ※共有については校内掲示板やクラウドを活用する

※各校の実態に合わせて内容や時間は適宜アレンジする

「SAMR モデルを参考に 1 人 1 台端末（ICT）の活用を考える」

目 的：担当する児童生徒の「夢」や「願い」を叶える 1 人 1 台端末の活用を考え、実践につなげる

実施時期：学期中、長期休業中（6～12 月）

内 容：SAMR モデルを参考に、各自の実践の発展を検討する



研修スライド



演習スライド

【備考】

- ・研修スライドは各校の実態に合わせ、内容などを適宜アレンジする
- ・演習スライドは閲覧専用のため、ダウンロードやコピーをして利用すること
- ・Google Classroom などを利用して資料の配布やスライド閲覧をすることも可能

URL：https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/page_20230316234002

研修日程（目安 30 分）

時期	内容
研修前	・パッケージを参考にして研修スライドの作成 ・デジタル資料の準備（例：Google Classroom、Google スライド） ・演習のグルーピング（例：4 人程度の学部や教育課程の混合グループ）
研修当日	研修スライドに沿って研修を進める ①ICT（1 人 1 台端末）活用のメリットは？（5 分） ※先生方の日々の業務や生活における ICT 活用について意見交換を行い、ICT 活用のメリットを改めて実感できるようにする ②授業や生活における活用のポイントは？（5 分） ③ICT（1 人 1 台端末）活用を発展させるには？（20 分） 演習：SAMR モデルで ICT 活用を考える ・スライド「SAMR モデルで活用を考える」を開く ・自分のグループのスライドを選択 ・S【代替】を個人で考える ・グループで 1 つ S【代替】を選び、A【拡大】、M【変形】、R【再定義】を検討 ・全体でスライドの共有・発表 ※最後に研修の様子を振り返り価値付けてまとめる
研修後	・研修内容の共有 ※研修で使ったスライドを校内で閲覧できるようにする（掲示板などを活用） ・研修を踏まえて行った実践の共有

※各校の実態に合わせて内容や時間は適宜アレンジする